



三井炭礦の休山で

哀れ悲惨な労働者

下山を急ぐ家具家財の投賣

三井炭礦の休山は昨報の如千余の世帯が名残多い居所であるが、従業員五十余名を失ふので其の混雑は云ふに對しても三十一日午後出ばかりでなく、何れも路要金張中の藤岡重役から悲痛なる準備と解雇申渡しがあつた手當は俸給三ヶ月の外

勤績年 數による加算

がある筈で目下何れも残務を添へる音響機が三圓前後を急いでゐる一方職を云ふ途方もない値段で賣飛ばされてゐるが夫れでも買手がないのは何所までも困るものを泣かせ

下山に 忙はしく同日

は卅余名、今日日は百四十名程の退山があつた何せ一の毒な惨状を呈してゐる。

國産獎勵の裏面

不正が最も易い 如何はしい官吏の推奨に迷惑

してゐる實例に乏しくない爲

國産需用獎勵の卅一日に於悲惨な實狀並びに炭礦からける石城郡町村長支會總會出でゐる教育費の削減と之は昨報の如く臨席せる本縣に伴ふ三學級減少の（生

議を遂げたが時節同會に擔當教師の減員からは副産物の

受けた水谷社會課長も事業がないので如何ともなし難く會議は結局

有耶無耶に終り山付方面の農村救済策として薪炭材料特賣請願の件は地元局の注意を希望するものも密林署長と交渉の余地が少なかつた模様である

氣味の悪い天候も

一兩日で回復せん

だが今年はいくせが北上の面白くない風が多く殊に

數日來險惡を孕む天候には鯉漁と海水浴を控ふる程にも大切な稲作をもつ農村にも多大な恐怖と打撃を興へ現下の不景氣をより消衰に陥らしめてゐるが右に就て小名濱測候所長は語る

國産愛用の 講演と活動

来る十二日 平第三校で

縣では國産品愛用を目下盛んに鼓吹してゐるが来る十二日午後一時平町第三小學校講堂に於て商工省商工書院官磯谷光亭・小柳本縣知

平第一の 臨海學校 二日から一週 間四倉町にて

石城名梨に黒星病 豫防如何で半減收 赤井平窪等主産地から 發生して各當業者に大恐慌

石城名梨に黒星病

豫防如何で半減收

赤井平窪等主産地から

發生して各當業者に大恐慌

石城に於ける果樹産額の親れまで育て上げた果實がボ

完全な 防止策を講じ

なければ現在同病の發生を

免たるもの並に發生の地下

を有するものは之れからの

被害が甚大であつて丁度八

月末から九月頃に於ける

成熟期に近づいて夫

效果を認められる常

業の中には薬が強ければ効

四斗式過石灰液を一反歩

効果の爲めに高い石段を登

つて其境内に居る中は相應

の木立もあり風もよく通つ

てさ程暑くとも思はなかつ

たがさて參詣終つて此石段

を下りて来たれば又紅塵の

中に立つてもとの暑さが戻

つて来た心持がする石段

の上は天上極樂の地で下は

梨樹に 三斗式の如き 撒布すると其爲に却て藥 害を興へるから注意を要す

石城地方に 稻熱病 此天候では 多からうと

養鶏講演 来る九日郡 農會に於て

大學教授の 經濟講演 来る三日南町の キリスト教會で



苦熱

滿壽莊

石段を下りればもとの暑 さかな 乙由

乙由は仙臺の俳人である此 句は前書はありませせんが鹽 釜神社へ參詣した時の句で

